

令和元年度 第7回政策推進会議報告

日 時 7月22日 9時33分～10時45分

場 所 4-1会議室

出席者 20人

1 第1次尼崎市公共施設マネジメント計画（方針1：圧縮と再編の取組）の「今後の具体的な取組（素案）」に対する市民意見公募手続結果等について

資産統括局長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

- ・総務委員への事前説明ではどのような反応があったか。
→主なものとしては、体育館と老人福祉センターの複合化の関係で、お風呂の機能を廃止する
なら今回の計画の別紙3の中にもっと具体的に記載しておくべきではないかという意見があ
った。この件については、成案化したあとに個別に施設利用者や関係団体等に対して説明し
ていくので、例えば介護の予防保全のソフト事業というようなことも含めて、施設の概要や
配置図と併せて資料を配布しご意見をいただく形で進めていくと説明した。また、福祉会館
について、なぜこのような変更をしたのかという意見もあった。
- ・(市長) どのタイミングでどのような情報に対して意見を聴いておくべきなのかについては検
討しているところなので、今回いただいたような意見も踏まえて、今後に生かしていかない
といけない。福祉会館については、地域振興の取組の中で精査していくものであるが、現在、
各地域の会館や学校の空き教室の開放状況、さらにそこでどのような活動をしているか等を
地図情報に落とし込めるシステムの導入を複数局に跨って検討している。学校開放ができる
状況のところ福祉会館があるのかないのか等、やはり面的に全体のバランスを見る必要が
あると思うので、資産統括局や福祉部門と地域政策本部等で情報共有したい。
- ・(森山副市長) 今後の取組を進めるにあたってはそれぞれの所管局が入っていくことになるが、
やはり実際の協議を始めると地域からいろいろな要望や意見が出てくると思う。そうであ
っても、全体の総事業費は決まっているので、資産統括局と十分に調整しながら進めていく
ようよろしくお願いいたします。

2 平成30年度企業会計決算の概要について

公営企業局企画管理課から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

【水道事業会計・工業用水道事業会計】

- ・(吹野副市長) 工業用水道の業務状況で、1社減少したものの給水量が増加したということだ
が、これは事業活動が活発化したということか。
→一部の企業で給水量が増加したが一時的なもので、これからも増加が継続するような状況で
はないと聞いている。

【下水道事業会計】

- ・(吹野副市長) 新聞で、瀬戸内海が綺麗になりすぎて魚が減っているため、兵庫県の排水基準
を緩和するという記事があった。県から処理基準を見直すような具体的な指示は来ているか。

→所管課に確認する。

- ・(市長) 一方で、大阪湾フェニックス計画では排水に対して高度処理基準のようなものが課せられていたと思う。両方の要請があるのかもしれないので、最新の基準を確認しておいてほしい。
- ・(森山副市長) 水道、工水、下水の3会計全てに言えることだが、経常利益が10%を超えており、料金が低いのではないかという議論になる可能性がある。目先のことだけを見ると料金を下げたらいいのではということになりかねないので、経常利益は将来の設備投資に回るといような説明をきちんとしておかないといけないと思う。
- ・業務状況のところで降雨量が増加したという記載があるが、管の老朽化によりいわゆる不明水という本来処理する必要のない地下水等の処理量が増加している可能性がある。また、地下水が溜まると道路の陥没にもつながるので、そういう老朽管の定期的な調査のようなものが、今後の取組にあるビジョンの中に書かれるのかについても確認しておいていただきたい。
- ・(市長) 経年数と実際の老朽化度合が意外とずれていると聞いた記憶がある。条件によって腐食が早いところと意外に長持ちしているところがあって、その辺を調査しながら優先順位をつけて整備していくことになる。具体的にどのくらいの頻度で定期検査を行われているのかとか、不明水の件については確認しておいてほしい。

【モーターボート競走事業会計】

- ・(市長) 昨年度、公共施設整備基金の条例改正を行い、モーターボート競走事業会計の利益から企業会計側の必要経費を差し引いた部分を折半で一般会計に入れてもらい、ファシマネの維持管理のほうに充てていくという積み立てルールを作った。最近順調に収益が伸びているため、一般会計への繰出金が増えるのは喜ばしいことだが、それに伴い総務省(地方公共団体金融機構)に渡す公営競技納付金も多くなってしまう。これは、他の自治体の公的な資金借入れの金利を助けてあげるために、ボートレース場を持っているところが全国に売上を還元するという仕組みである。この納付金については、これまでは経理的なテクニックにより払わなくてすんでいたが、来年度からはきちんと払っていかなければならないという事態に陥っているとのことなので、基金の積み立てルールを作ったばかりではあるが、必要があればもう一度両局そろってルールを確認してほしい。また、今後はこの納付金からは逃げられないとのことなので、市全体の財政計画に響くことだと思っている。決算議会でモーターボート競走事業会計の利益の処分案を承認してもらえるように、丁寧な説明をしていかないといけないと思うので確認をお願いしたい。

3 その他

- 総合政策局長から、A-Lab Exhibition Vol.19「気配と存在」について説明。
- 総合政策局長から、大植英次 中学・高校吹奏楽部 公開レッスン&コンサートについて説明。
- 医務監から、母子健康手帳のリニューアル(表紙デザインの公募)及び子育て支援アプリの導入について説明。
- 経済環境局長から、あまがさき環境オープンカレッジ 夏休みこども COOL CHOICE 講座について説明。

以上